

学校評価報告書（自己評価） 令和6年度

給田小学校

○教員が、自分達でつけた評価です。

重点目標

3・77（年度末） 昨年度 3・74

・いつでもどこでも自らすすんで「挨拶」ができる児童の育成

成果 学校探検や道徳の交換授業などで、担任以外の教員に対して挨拶ができるようになった。

課題 挨拶当番がなくなったら、挨拶する児童が減ってきた。

提案 友達に対して挨拶する児童を巻き込んで、誰に対しても挨拶をする雰囲気作りに努める。

豊かな心と体の育成

4・13（年度末） 昨年度 4・3

・多くの人との関わりの中で、児童の自尊感情を育てる事ができたか

成果 道徳授業などで、児童が担任以外の教員も自分の事を理解してくれるという意識を持つ事で、自尊感情が高まった。

提案 自己認知を促す事で、長所短所を理解し自尊感情を高める事が必要である。

確かな学力の形成

3・62（年度末） 昨年度 3・7

・「せたがや探究的な学び」の実現に向けて「探究のプロセス」を授業に取り入れるよう努めた。

成果 ペア学習など友達同士で関わる時間を意識して取り入れる事ができた。

提案 子ども同士の話し合い活動をさらに積極的に取り入れる事が必要である。

開かれた組織

4・52（年度末） 昨年度 4・22

・支援が必要な児童について教職員全体で理解し、指導にあたる事ができた。

成果 毎日学年で児童の情報共有をして、指導する事ができた。

支援が必要な児童の指導に、管理職も参加する事で、児童のサポートがしやすくなった。

教職員だけでなく、運営委員の皆さんにも大いに協力してもらった。

提案 あったかルームでの円滑な活用が、今後必要である。

安全・安心

4・19（年度末） 昨年度 3・92

・オープンスペースを活用するなどして、教育環境を充実させる事ができた。

成果 活動に応じた場所を活用している。教室一覧表を活用し、スムーズに場所の確保ができた。

課題 トイレの便器にシールを貼ったり、便器の中にロールを入れたりトイレの使い方が悪かった。

提案 学年集会で、全体指導をしていく事が必要である。

地域運営学校

3・59（年度末） 昨年度 3・62

・児童のボランティア活動を推進することができた。

成果 お手伝いをしてくれる児童が多くなった。

課題 6年生のボランティア活動の計画が、スムーズに進まなかった

提案 コーディネーターを調整役にして、計画的に進める事が必要である。総合的な学習の中で、1年から6年まで系統的に進める必要がある。

*ここに記されている数字は、教員が5段階評価でつけた平均です。教員の意識がわかる評価です。